

第5学年2組 国語科学習指導案

平成29年10月20日（金）5校時

場所 竹矢小学校 図書館

指導者 担任

司書教諭

学校司書

1. 単元名 「和の文化」について調べよう
「和の文化を受けつぐ」（東京書籍 5年）
2. 単元の目標
 - ・事柄が明確に伝わるように、説明の構成を工夫することができる。（話すこと・聞くこと）
 - ・自分の課題を解決するために、複数の本から必要な情報を選ぶことができる。（読むこと）
3. 本単元にかかわる情報リテラシー（松江市小中一貫基本カリキュラム「学び方指導体系表」による）
 - ・学習計画を立てる。（C）
 - ・課題に応じて資料や情報を集める。（D）
 - ・適切な事例や資料をあげる。（K）
 - ・資料を活用して説明する。（M）

4. 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	話すこと 聞くこと	読むこと	言語についての 知識・理解・技能
和の文化について調べて説明するという目的を意識して文章を読み、進んで調べたり、工夫して話そうとしたりしている。	事柄が明確に伝わるように、説明の構成を工夫している。	自分の課題を解決するために、複数の本から必要な情報を選んでいる。	文章のいろいろな構成について理解している。

5. 単元設定について

（省略）

6. 単元の指導計画と支援と評価（全14時間 本時9/14）

次	時	主な学習活動	支援 (◎担任 ◆司書教諭 ◇学校司書)	【評価規準】 (方法)	
一 つ か む	1	○通読する。 ○学習の見通しをもつ。	◎教科書を読んで和の文化について深めることができるようにする。		
	「和の文化」について調べ、発表会を開こう				
		○和の文化に関連する本を紹介してもらう。	◎◇教室に「和の文化」についての本を用意しておき、「和の文化を受けつぐ」と平行して読めるようにする。 ◇「関連リスト」紹介	【関】和の文化について知り、教材や、関連図書を進んで読もうとする。(行動観察)	
	2	○説明の観点「歴史」と、説明に用いられている資料に着目して、本論1(②～⑥段落)の内容を読み取る。	◎形式段落に着目し、それぞれの段落の要点を箇条書きにすることで、文章構成図にまとめることができるようにする。 ◎説明に用いられている資料を確認し、そのよさを考えることで、発表に生かせるようにする。	【読】観点や構成、資料の使われ方に着目して内容を的確に理解し、要点を押さえながら読んでいる。(ノート・発言)	
	3	○説明の観点「他の文化との関わり」と、説明に用いられている資料に着目して、本論2(⑦～⑩段落)の内容を読み取る。		【読】観点や構成、資料の使われ方に着目して内容を的確に理解し、要点を押さえながら読んでいる。(ノート・発言)	
	4	○説明の観点「文化を受け継いだり支えたりする人」と、説明に用いられている資料に着目して、本論3(⑫～⑮段落)の内容を読み取る。		【読】観点や構成、資料の使われ方に着目して内容を的確に理解し、要点を押さえながら読んでいる。(ノート・発言)	
5	○結論部分を読んで文章の要旨をまとめる。	◎題名を手がかりにしながら、結論から読み取ることできた要旨をまとめるように指示する。	【読】題名を手がかりにしながら要旨をとらえている。(ノート・発言)		

二 追求する	6	○プレゼンテーションのイメージをもち、発表までの流れを確認する。 ○熊野筆の資料を読む。	◎◆◇発表会のプレゼンテーションを行い、発表のイメージがもてるようにする。 ◆発表までの手順について説明し、発表会までの学習の進め方がわかるようにする。	【関】発表の仕方や発表までの手順を理解しようとしている。 (発言・行動観察)
	課外	和の文化に関する図書を読む。	自分が調べたいことを探すために読書をするよう声がけする。	
	7	○自分の調べたい内容を決め、テーマごとにグループを作る。	◎これまで読んできた資料の中から調べたい和の文化と調べる観点について全体で確認し、次時からの活動につなげるようにする。 ◎テーマごとにグループを作り、いくつかの観点を決め調べていくようにする。	【関】「和の文化」について関心をもち、調べて説明するという目的を意識して文章を読もうとしている。 (行動観察・発言)
三 深める	8	○発表会に取り上げるテーマと調べる観点を確認し、本から必要な情報を集める。	◎情報カードに書きながら資料を読むことで、情報を残すことができるようにする。 ◎◆◇目次や索引、見出しなどを利用することを確認し、効果的な方法で本を読むことができるようにする。 ◎◆◇情報カードの記入について個別に指導する。	【読】自分の課題を解決するために、複数の本から必要な情報を選んでいく。(情報カード・付箋・行動観察)
	9 本時	○集めた情報を出し合い、必要な情報を選んだり組み合わせたりして、発表する内容を考える。	◎集めた情報の中から必要なものを取捨選択したり組み合わせたりして、1つの観点につき3つ程度の内容になるように指示する。 ◎◆◇説明に必要な情報であるかどうかを助言する。	【話聞】必要な情報を選んだり組み合わせたりして、発表する内容を考えている。(模造紙・行動観察)

	10	○発表構成図を使い観点ごとにまとめ、説明する内容や構成を考えるとともに、グループの分担を決める。	◎発表構成図にまとめることで、発表する内容と流れが明確になるようにする。 ◆発表構成図へのまとめ方を説明し、序論・本論・結論を意識して話し合うことができるようにする。 ◎◆◇説明に必要な情報であるかどうかを助言する。	【話聞】発表構成図を使い、説明する内容や構成を考えている。 (発表構成図・行動観察)
	11	○発表に必要な原稿や資料を確認し、意見を出し合う。	◎提示する資料やそれを提示するタイミングなど、話し方の工夫も書き込むように指示する。 ◎これまで学習した話し方の工夫や資料の示し方を整理して示しておく。	【言】文章のいろいろな構成について理解している。(発表原稿)
	12	○説明の内容や資料の使い方などについて、グループで助言し合いながら発表会の練習を行う。	◎前半と後半二つに分かれて発表することで、グループで助言できるようにする。 ◎想定される質問の回答や説明を補足する資料も合わせて準備するように指示する。	【話聞】発表原稿をもとに、用意した資料を用いながら説明する練習を行い、よりよい発表の仕方を考えている。(行動観察・発表原稿)
四 伝え合う	13	○和の文化についての発表会を開き、自分の考えと比べたり、説明の構成や資料の使い方について注意したりして聞き、感想や意見を伝え合う。	◎自分が調べた内容や自分の考えと比べたり、話の構成や資料の使い方について良い所を見つけたりしながら聞くように指示する。	【話聞】事柄が明確に伝わるように資料を活用して説明したり、自分の意見や知識と比べながら発表を聞いたりしている。(発表・感想・ノート)
	14	○単元の学習をふり返る。	◎「言葉の力」を参考にして、「話すこと・聞くこと」および「読むこと」の両面から単元の学習をふり返るようにする。	【読】目的に応じて本を読むことを理解している。(発言・ノート)

7. 本時の学習

- (1) 自分たちが集めた情報カードの中から、必要な情報を選んだり組み合わせたりして、発表する内容を考えることができる。
- (2) 本時にかかわる情報リテラシー
 - ・適切な事例や資料をあげる (K)
- (3) 展開

学習内容と予想される児童の反応	支援と手立て ◎担任 ◆司書教諭 【評価】(方法)
1. 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 情報カードをもとに、発表する内容を考えよう。 </div>	◎学習してきたことを掲示し、今まで学習したことが想起できるようにする。
2. 情報カードの整理の仕方について確認する。 ・分類の仕方を観点ごとに出す。 ・内容を読みながら提示する。 ・分類したものに見出しをつける。	◆情報カードの内容を分類したり整理したりするために、模造紙に情報カードを貼っていくことを説明する。 ◎◆情報カードを使い実際にやってみせ、グループの話し合いがスムーズにできるようにする。
3. グループで話し合いながら、集めた情報を整理する。 ・自分が集めた情報カードを分類する。 ・1人ずつ説明しながら情報カードを、並べていく。 ・それぞれの観点を確認し、情報が観点到合っているか話し合う。 ・1つのテーマにつき、3つ程度の観点になるようにする。 ・1つの観点につき、3つ程度の内容になるようにする。 ・どの観点を中心にするか決める。 ・はじめの部分を考える。	◎デモンストレーションにあった「支える人々」「歴史」「他の文化とのかかわり」の観点以外も認めるようにする。 ◎◆グループを回りながら、集めた情報が観点ごとに分類されているか、加えたり削ったりする情報はなかなど個別に声がけする。 ◎◆情報が足りない場合は、本資料を使いつけ加えるように促す。 ◎模造紙を準備し、発表する内容を整理しやすくする。 ◎はじめの部分は、中心に取り上げなかった観点も使うことを伝える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> 【読】必要な情報を選んだり組み合わせたりして、発表する観点を考えている。(模造紙・行動観察) </div>
4. 本時の学びをふりかえり、次時の見通しをもつ。	◆次時に発表構成図を使い、発表の構成を考えていくことを伝える。

(4) 本時の評価

	十分満足できると判断される児童の具体例	概ね満足できると判断される児童の具体例	支援を必要とする児童への支援の手立て
読む能力	発表の構成を意識しながら、必要な情報を選んだり組み合わせたりして、発表する内容を考えている。	集めた情報を観点ごとに整理し、必要な情報を選んだり組み合わせたりして、発表する内容を考えている。	集めた情報を整理するための観点を提示したり、似通った情報を示したりすることで、分類のしかたを支援する。

8. 湖東かなび学園授業づくりの視点

(1) 本時の授業の視点

- ・グループで情報カードを集めて模造紙を使い整理・検討したことは、伝えたいことを明確にするために有効であったか。

(2) 本時で、特に意識したい授業スキルアップのポイント

1	一時に一事の問いや指示	5	心地よいリズムとテンポ	9	明るい表情と声
2	教師の説明は端的に	6	空白の時間をつくらない	10	適切な学習環境
3	発問や指示はぶれない	7	達成状況を確認する		
4	資料や教材は一目で分かる工夫を	⑧	すべての子どもを認め、励ます		

「8 すべての子どもを認め、励ます」

- ・あらかじめ児童が集めた情報カードの内容を把握し、グループの中での発表・話し合いができるように助言する。

9. 本時の板書計画

